



# SAMI NEWS No.33

動物医療発明研究会 2013 March

皆様、おげんきですか？ 少しずつ春めいて、ノミ・マダニ・狂犬病・フィラリアなど予防の準備に忙しくなっていると思います。今回のニュースは、新会員のご紹介、獣医内科学アカデミーでの齋藤先生の講演、および中山先生の症例を取りあげました。

3月5日-10日、ニュージーランドでおこなわれたWSAVAの大会に行ってきました。直行便で11時間半かかる近そうで遠い国ですが、ペット飼育率No.1、動物愛護精神たっぷりの国でした。展示ブースには、早食い防止の食器、尿検査用の浸みこまない猫の砂など、アイデア品もありました(図)。



## 【獣医内科学アカデミーのご報告】

発明研究会として下記のタイトルで教育講演をしました。

- ・ 事実は小説より奇なり：そんな症例のご紹介(眼科) 齋藤 陽彦先生
- ・ 小さなことから始めよう 清水 邦一
- ・ トラブル防止の数々 清水 宏子

## —今回寄せられた感想文の一部をご紹介します—

- 静岡県 H 先生 : この度は、貴重で楽しいご講演を有難うございました。さっそく貴会に入会させていただきたく存じます。
- 大阪府 Y 先生 : 日々の診療を少しでも快適に行うためのアイデアとしても参考にさせて頂いています。書籍としても出版されるということなので、楽しみにしております。
- 神奈川県 S 先生 : 開業して3年目です。今日から来院した動物も、必ず目をチェック使用と思います。
- フクダ ME : いつもよいアイデアを教えて頂き、企業としても役立てていこうと思います。
- 熊本市 Y 先生 : 気管チューブ固定ヒモで適当なものがなかなかだったので、サンプルを頂き、うれしいです。気管チューブにマジックでサイズを書くのは帰ったらすぐにやります。
- 横浜市 S 先生 : 目の1.5次診療をめざして、月一回お茶ノ水の「山の上ホテル」でコーヒー付セミナーを勉強させて頂きます。
- 岩手県 VTM さん: 材料や器具など、買ったまま使用していることがほとんどでしたが、今回のお話を聞いて、いかに自分たちが作業しやすくしていけるか、どうしたらさらに便利なものにできるのかを考えて、どんどんカスタマイズしていった方が良いのだなぁと感じました。  
春からVT4年目になるのでどうしたら飼い主さんに喜んでもらえ安心して来て頂けるか、スムーズな診察にしていけるかを考えて、楽しく明るく働いていきたいと思えます。
- 薬品会社 I 先生 : 各国のペット事情も知りたいので、WASVA の記事の紹介や今回の2つの内科アカデミーの内容をSAMI ニュースにも載せて欲しい。
- 石川県 Y 先生 : アイデアが少したまっていますので、機会をみつけて発表します。
- 動物園 D 先生 : 動物の大きさもマウスからもキリン、ライオンなど様々なので、一般に出回っているのもものでは対応できないことがたくさんあります。ハムスター用の聴診器を真似して作ってみます。
- 日本大学学生 K さん : 2年前もご講演を拝聴させて頂きました。アイデアや気配りを産み出すことで、アットホームな病院を作っていきたいなあと思いました。実習をさせて下さい。
- 富士メディカル M さん : ドライケム使用の様々な工夫、大変興味深く聴かせて頂きま

した。機器を可愛がって頂けている様子に、うれしくなりました。

神奈川県 H 先生 : 齋藤先生のトライアングル眼科ワンポイントレッスンのようなものを SAMI ニュースに載せて頂けるとうれしいです。

### トライアングル眼科診療室 齋藤陽彦先生の獣医内科学アカデミーの内容から

講演の中で1つの大きなポイントは、角膜を保護する眼瞼縫合法でしたので、まとめてみました。 (邦一)

#### —眼瞼縫合法について—

角膜の異常は、外傷による損傷、角膜糜爛、角膜潰瘍、乾性角膜結膜炎、SCCEDs (持続性慢性角膜上皮欠損) などがあります。それぞれに対応した治療が行われますが、共通して必要な処置として、角膜を保護する眼瞼縫合があります。角膜全体を覆う瞬膜フラップ形成術に対し、角膜の状態を観察できる処置となります。

縫合糸は、6-0、7-0 のナイロン、または8-0、9-0 のバイクリルを使用します。

結節縫合の間隔は、1.5-2.0mm。縫合糸のかけ方は、角膜に縫合糸がふれないことが大切です (図1)。縫合の範囲は、病変部が隠れる程度となります (図2)。

動物の状態に応じて、局所の浸潤麻酔または全身麻酔のもとに行います  
3週間ほどで、緩んできますので、必要に応じて再縫合します。

\*詳細は、「トライアングル眼科診療室」に FAX (03-3814-2170) をして OK です。



図1 角膜に触れない縫合



図2 1.5-2.0mm 間隔の縫合

### 【新入会員の自己紹介】

橋本 昌大先生

☆プロフィール

高草山どうぶつ病院 院長 鳥取大学 獣医学科卒。 青年海外協力隊  
京都 YMCA 勤務、ミクロネシア・オア高校。教師を経て小動物臨床に従事。  
日本伝統獣医学会の理事をしています。

☆病院の紹介

東洋医学を行っています。

☆ポリシー

忍耐、寛容、親切

☆過去の発明・発見・アイデアを自慢してください

買い物カートを使った自作犬用車いすです。

☆そのきっかけ生まれた理由

犬用車いすを安く作ろうとただけです。

☆皆に役立つ失敗談

失敗はたくさんありますが、皆様のお役にたてないものばかりです。

☆これからやりたいこと、目標（仕事でも趣味でも）

馬鹿になる！アホになる！

☆今、夢中になっていること取り組んでいること

夢解釈

☆発明研究会の皆様に伝えたいこと

いろんなことを教えてください。

☆発明研究会で自分がやりたいこと、発表したいこと

これから見つけます。

☆ご住所

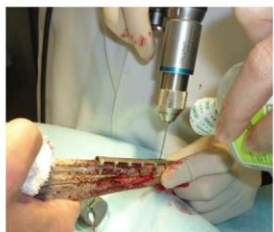
〒421-1131 静岡県藤枝市岡部町内谷 946-12

TEL 054-667-0898

【奈良県 中山先生からの症例報告】 写真でご紹介いたします

2012/12/22

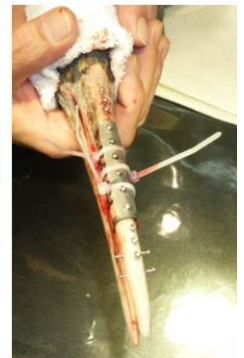
タンチョウ 嘴破断



故岸上正義先生より頂いた  
ムカデプレート



エポキシパテによる固定





2013/01/15  
左上:ワカサギをついばむ  
右上:木の実をついばむ

2013/02/26  
現在まだもっている



♥ 次年度の会費納入を、4月30日までにおねがいたします♥

動物医療発明研究会のホームページできています。登録もできます。

会員の病院・施設名、〒、住所、TEL、FAX、ホームページ URL を掲載します。

ご希望の場合は、件名に「SAMI-HP 掲載希望」と明記して、データをメールにて

[hp@ispecial.co.jp](mailto:hp@ispecial.co.jp) (ホームページ運営受託: 株式会社アイ・スペシャル) へお送りください。



SAMI NEWS 33号

発行日 2013年3月

発行所 動物医療発明研究会事務局

発行人 会長 清水 邦一

編集人 伊藤 隆

事務局 230-0061 横浜市鶴見区佃野町3-3

清水動物病院内

TEL(045)583-3738 FAX(045)583-3594